



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月2日 東

上場会社名 株式会社メタルアート 上場取引所
 コード番号 5644 URL <http://www.metalart.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 多田 修
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 安居 弘 (TEL) 077-563-2111
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	17,358	△9.0	87	△91.4	△126	△108.2	△117	△112.9
27年3月期第3四半期	19,074	△5.7	1,022	△42.0	1,549	△12.0	912	△14.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △364百万円(△140.1%) 27年3月期第3四半期 909百万円(△11.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△7.47	—
27年3月期第3四半期	57.89	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	22,418	11,615	51.8
27年3月期	25,348	12,122	46.9

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 11,615百万円 27年3月期 11,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	9.00	9.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の配当金額は未定であります。

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,450	△8.9	340	△73.0	140	△91.4	50	△94.9
								3.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	15,786,910株	27年3月期	15,786,910株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	27,079株	27年3月期	25,800株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	15,760,259株	27年3月期3Q	15,761,656株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたって注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安傾向や原油安を背景に全体として穏やかな回復基調ではありますが、民間投資や消費動向については回復には至っていません。また、世界経済において米国経済は順調に推移する一方、中国経済の減速が鮮明となり、またこれに連動した新興国の景気の停滞や中東の政情不安等、先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、当社主力の軽自動車は軽自動車税増税の駆け込み需要の反動を含めた市場の縮小により、前年に対して大幅に落ち込みました。一方、海外ではインドネシアも資源相場低迷、ルピア安、インフレ等による経済成長の低迷が続いている中、自動車販売は大幅に減少しています。建設機械部門においても、資源価格の低迷による鉱山機械需要はさらに落ち込み、中国や東南アジア市場の回復が見込まれない状況が続いております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は173億5千8百万円（前年同四半期比9.0%減）となりました。部門別では、自動車部品はインドネシアにて新規部品の販売を開始するも131億4千8百万円（前年同四半期比3.2%減）、建設機械部品は33億5千万円（前年同四半期比28.1%減）、農業機械部品は4億8千9百万円（前年同四半期比14.5%増）、その他部品は3億6千9百万円（前年同四半期比6.7%減）となりました。

損益面におきましては、売上の減少、PT. METALART ASTRA INDONESIA（インドネシア子会社）の立上げに伴う生産ロスが予想を上回り、グループを挙げて原価低減活動に努めたものの、営業利益8千7百万円（前年同四半期比91.4%減）、経常損失は1億2千6百万円（前年同四半期は経常利益15億4千9百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1億1千7百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益9億1千2百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ29億2千9百万円減少し、224億1千8百万円となりました。

資産の部では、流動資産は、現金及び預金が18億5千7百万円減少、電子記録債権が6億6千6百万円減少、たな卸資産が4億6千5百万円増加、仮払金が2億円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ23億1千9百万円減少し、109億3千6百万円となり、また固定資産は前連結会計年度末に比べ6億1千万円減少し、114億8千1百万円となりました。

負債の部では、流動負債は、買掛債務支払方法の変更等により買掛金が50億6百万円減少、未払法人税等が4億6千2百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ23億6千7百万円減少し、99億7千5百万円となり、固定負債は、長期借入金が4千8百万円減少したこと等により前連結会計年度末に比べ5千6百万円減少し、8億2千7百万円となりました。

純資産の部では、親会社株主に帰属する四半期純損失1億1千7百万円の発生、剰余金の配当による1億4千1百万円の減少、その他有価証券評価差額金が2千1百万円減少、非支配株主持分が2億3千4百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ5億6百万円減少し、116億1千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成27年9月29日に公表いたしました業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成28年2月2日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更等)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,911,297	1,054,011
受取手形及び売掛金	3,107,489	2,678,533
電子記録債権	3,315,879	2,649,594
製品	233,691	364,116
仕掛品	1,169,296	1,136,875
原材料及び貯蔵品	1,781,604	2,149,047
その他	736,604	903,973
流動資産合計	13,255,863	10,936,152
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,801,273	2,659,772
機械装置及び運搬具(純額)	4,689,949	4,774,204
土地	2,594,119	2,570,756
その他(純額)	1,272,092	764,531
有形固定資産合計	11,357,435	10,769,265
無形固定資産		
	49,945	48,029
投資その他の資産		
投資有価証券	482,108	453,697
その他	211,349	220,097
貸倒引当金	△8,630	△9,130
投資その他の資産合計	684,828	664,665
固定資産合計	12,092,209	11,481,959
資産合計	25,348,072	22,418,112
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,037,448	2,031,088
電子記録債務	-	3,394,247
短期借入金	3,272,000	3,572,000
未払法人税等	462,975	-
賞与引当金	306,896	154,861
役員賞与引当金	6,000	4,500
その他	1,257,305	818,850
流動負債合計	12,342,625	9,975,548
固定負債		
長期借入金	320,000	272,000
退職給付に係る負債	258,874	271,342
役員退職慰労引当金	88,100	91,026
資産除去債務	31,184	25,971
その他	185,183	166,721
固定負債合計	883,341	827,061
負債合計	13,225,967	10,802,609

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,143,486	2,143,486
資本剰余金	1,641,063	1,641,063
利益剰余金	7,853,177	7,593,577
自己株式	△8,150	△8,564
株主資本合計	11,629,577	11,369,563
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	222,068	200,215
為替換算調整勘定	△4,072	7,869
退職給付に係る調整累計額	39,648	37,854
その他の包括利益累計額合計	257,644	245,939
非支配株主持分	234,883	-
純資産合計	12,122,105	11,615,502
負債純資産合計	25,348,072	22,418,112

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	19,074,610	17,358,752
売上原価	16,669,288	16,160,017
売上総利益	2,405,322	1,198,735
販売費及び一般管理費	1,382,340	1,110,745
営業利益	1,022,982	87,990
営業外収益		
受取利息	3,668	5,105
受取配当金	8,307	8,422
為替差益	487,743	-
受取ロイヤリティー	8,479	6,945
その他	39,318	32,411
営業外収益合計	547,518	52,884
営業外費用		
支払利息	12,953	12,730
為替差損	-	248,684
その他	8,508	6,173
営業外費用合計	21,462	267,587
経常利益又は経常損失(△)	1,549,038	△126,712
特別利益		
補助金収入	-	118,276
特別利益合計	-	118,276
特別損失		
固定資産処分損	6,117	3,583
固定資産圧縮損	-	81,859
特別損失合計	6,117	85,443
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	1,542,920	△93,879
法人税等	756,344	260,499
四半期純利益又は四半期純損失(△)	786,576	△354,379
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△125,853	△236,628
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	912,429	△117,750

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	786,576	△354,379
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	54,549	△21,853
為替換算調整勘定	70,797	13,688
退職給付に係る調整額	△2,561	△1,794
その他の包括利益合計	122,785	△9,959
四半期包括利益	909,361	△364,339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,013,975	△129,455
非支配株主に係る四半期包括利益	△104,614	△234,883

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

当社及び連結子会社は、ともに鍛工品製造販売の単一セグメント(連結子会社は鍛工品の製品及び当社の一部部品加工組立を業としている。)であるため、記載を省略しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

当社及び連結子会社は、ともに鍛工品製造販売の単一セグメント(連結子会社は鍛工品の製品及び当社の一部部品加工組立を業としている。)であるため、記載を省略しています。